

令和 5 年度

# 学習のススメ



苫小牧市立勇払中学校

年 組 番 氏名

# なぜ、学習（勉強）するのか？

考えたことはありますか？

学習をする環境と機会はすでに与えられています。

みなさんには将来、社会の中で人と関わりをもちながら「働く」ことが求められます。

学習の最終地点は、自分の夢を見つけ、実現させ、自分の力で生きていくこと。そのために学習する習慣を身につけ、自分の目標に見合った力をつけていく必要があります。

そのための学ぶ場が学校なのです。

## 勇中学生の実態

多くのアンケートや調査から苫小牧内の中学生は、全体的に家庭学習不足の傾向であることが明らかになりました。

特に家庭学習の時間が少ない生徒の割合が高く、逆にインターネットやゲーム、スマホに時間を費やしている実態が明らかになりました。

項目		全校の割合	参考
メディア 使用時間	2～3時間	50%	
	4時間以上	39%	
家庭学習 時間	平日1日の学習時間1時間以下	64%	30分以下の生徒は43%、 0分の生徒は14%

令和4年度12月の「よりよい勇払中学校を目指すアンケート」の結果より

勇払中学校の生徒の結果は、上の表の項目の割合が非常に高いことが明らかです。また、市内の中学生と比べても、メディア使用時間が多く、学習時間が少ない傾向が強く出ています。

そこで、「Ⅰ 生活習慣の見直し」「Ⅱ 効果的な学習法」「Ⅲ 5教科の基本学習法」の三部構成で「学習のススメ」を作成しました。この冊子を、皆さんの学習の糸口、きっかけ作りとして役立てましょう。

なお、すでに自分の学習方法を身に付け、学習効果をあげている場合はこの入門書は参考程度におさえて下さい。本書はあくまでも一般的な学習法として示しています。

# 1. 生活習慣の見直し



## 1 1日の生活パターンを身につけよう

- (1) 早寝早起きの習慣をつける。
- (2) 朝食をとる。
- (3) ゲームやスマホ, インターネット等にルールをつくる。
- (4) 睡眠時間を確保する。

## 2 家庭学習を習慣にしよう

- (1) 1日1回は必ず机に向かう。学習時間ゼロの解消。
- (2) 学習する時間帯を決める。
- (3) 自分の机の上の整理整頓をする。
- (4) 計画を立てて勉強する。

## 3 授業を大切にしよう

- (1) 毎日の授業を大切にすること。
- (2) わからないことは友達や先生に聞いて理解しよう。
- (3) 課題を期日までにやり遂げ, 提出しよう。

この冊子には学習に取りかかるための準備として、生活スタイルの見直しのポイントや学習方法が整理されています。目標を持って生活することを考え、今までの生活を振り返ってみてください。

## II. 効果的な学習法



### 1 目標を立てる

#### (1) 長・中・短期の目標の立て方

目標や目的がない学習では自分のものになりません。ただやらされているという気持ちにしかありません。そこで、長・中・短期に分けて計画してみましょう。

- 【例】 長期目標：将来は〇〇になりたい。そのために、△高、◇大学を目指す。  
中期目標：△高合格のため、国語・英語を重点的に頑張る。  
短期目標：今月（週）中に英単語50個を完全マスターする。

#### ■ 目標を立ててみよう！

長期目標	
中期目標	
短期目標	

#### ■ 目標は振り返ろう

各学期の終わりには自分を振り返ってみましょう。計画に無理はなかったか、逆にハードルが低すぎなかったのか等、途中で計画を見直すことが必要です。

#### (2) 学習計画の立て方（1日の日程表）

自分の目標を達成するために学習時間を確保しましょう。

##### アドバイス

- ① 1日のどこで学習に取り組むのか時間帯を決める。
- ② 学習をする時間帯を中心に、起床・睡眠の時間、食事時間を決める。
- ③ 自分の好きなことをする時間も確保する。

以上の3点を考えながら日程表をつくりましょう。作成した日程表は教育相談などを利用しながら先生からアドバイスをもらいましょう。家庭では、日程表を見える場所に貼っておきましょう。

## 2 よい授業の受け方を身につける

### (1) 学習の心得「スタンダード7」

勇払中学校には、学習の心得として『スタンダード7』というものがあります。これは、生徒全員と教師がひとつになってよい授業をつくろうという思いをこめて定めたものです。より良い授業づくりを目指して、この7つの心得を守っていきましょう。



### 勇払中学校 学習の心得『スタンダード7』

この7つの「心得」は、生徒全員と教師がひとつとなって良い授業をつくろうという思いをこめて定めたものです。 勇払中学校生徒会 平成30年3月8日改正

#### 【授業準備】

### 1 チャイムが鳴る3分前に着席し、授業の準備をする。

学習用具や課題を忘れることのないように注意し、机上の整理・整頓を心がける。忘れ物をしたときは、事前に教科担任の先生に申し出る。

#### 【授業実践—導入】

### 2 「お願いします。」の挨拶と座礼で授業を始める。

姿勢を正し、相手意識をもった挨拶を心がける。

#### 【授業実践—展開】

### 3 呼名されたときは「はい。」と返事をする。

### 4 自分の意見や考えを発表するときは、相手に伝わるように心がける。

「相手」や「場」を意識した声の大きさや姿勢、目線に気を配る。

#### 【授業実践—まとめ—定着】

### 5 学習内容や取組を振り返り、次時の見通しを持つ。

### 6 「ありがとうございました。」の挨拶と座礼で授業を終わる。

### 7 授業で学んだ内容を生かして、自学ノートに取り組む。

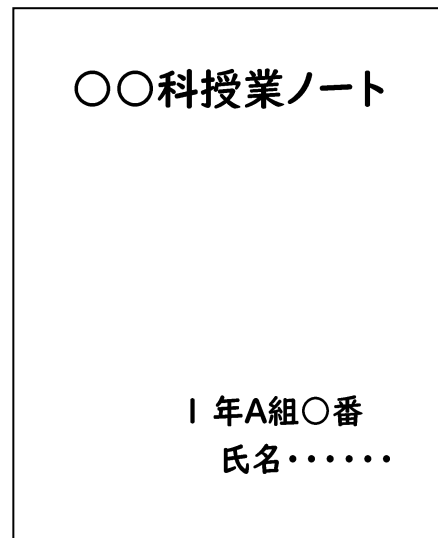
どんなことを学習し、何がわかり（できるようになり）、何がわからない（できない）のかを自分自身で把握し定着させる。



## (2) 授業ノートを充実させる

授業中、何も考えずただひたすら黒板の字を書き写す・・・そんなノート作りは卒業しましょう。きれいなノートにみえて、実際は効果的なノートとはいえません。ここでは、少しでも力のつくようなノートを作ってもらうために、いくつか例を紹介します。ぜひ、今日の授業から実践してみましょう。

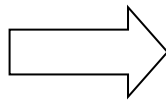
- ノートの表紙には必ず教科名と名前を書く。



- つめすぎず行間や余白は適度にあけて書く。

<行間をつめて書いたノート>

4月19日(木)  
速さの計算  
式) 速さ=距離÷時間  
問題① Aさんは1200mの道のりを10分かけて歩いた。このときのAさんが歩いた速さを求めなさい。  
式)  $1200 \div 10 = 120$  答え 分速120m  
練習 (1) Bさんが6kmの道のりを2時間かけて歩いたとき、速さはどれくらいか。  
式)  $6 \div 2 = 3$  答え 時速3km  
(2) Cさんが1.5kmの道のりを30分で歩いたときの速さはどれくらいかかるか。  
1. 5km=1500mだから  
式)  $1500 \div 30 = 50$  答え 分速50m



<行間にゆとりを持って書いたノート>

4月19日(木)  
**問題**  
Aさんは1200mの道のりを10分かけて歩いた。このときのAさんが歩いた速さを求めなさい。  
**課題** 速さを求めるにはどのような式をたてればよいか考えよう  
式)  $1200 \div 10 = 120$  答え 分速120m  
**練習**  
(1) Bさんが6kmの道のりを2時間かけて歩いたとき、速さはどれくらいか。  
式)  $6 \div 2 = 3$  答え 時速3km  
**まとめ** 速さは 距離÷時間 で求める。  
単位の付け方に注意する。 分速□m  
時速□km

<余白を工夫したノート>

マッピングをしながら挙げる	情報を集める	相手(同じクラスの友だち)	目的(地域の自然を紹介する)	はっぴやん	わかりやすく説明しよう
※意味	→ 小牧市の中学生	→ 相手を紹介する	→ 目的(奥松の海を紹介する)	漢字	説明情報

ノートには適度な余白が必要。  
ぎっしりと文字が詰まったノートはポイントが見づらいノートになってしまいます。

■黒板に書いてあること以外にも、先生の説明で大切なことは自分で考えてメモをとる。

Tuesday, May 8

課題 物や人が2つ以上ある(いる)ことを言うには？

I have <sup>1つの</sup> a pencil.

I have <sup>2人の</sup> two brothers<sup>s</sup>.

(例) 「1つのかばん」 a bag  
 ↓  
 「2つのかばん」 two bag<sup>s</sup>

「1つの箱」 a box  
 ↓  
 「3つの箱」 three box<sup>es</sup>

まとめ ① [鉛筆] [兄] のように、物や人を表す言葉を名詞という。  
 ② 物や人が2つ[2人]以上のとき、名詞の後ろに(e)sをつける。  
 ⇒複数形のS

数がいくつかに注目する！

メモを取るときには…

「覚え方」  
 「気をつけること」 } という言葉を書いて目立たせる  
 「ポイント」

付箋にポイントを書き、貼って目立たせる

という方法もあります。

■必ずやることは・・・

- (1) 授業を受けた日付・教科書のページを書く
- (2) 色ペンは2～3色、蛍光ペンを1本用意する。  
(色を使いすぎると、どこが重要なかわからなくなるので注意！)
- (3) 線は定規で丁寧に引く。
- (4) 絵や図は大きめに書く。

### (3) 朝読書の10分を大切にする

朝の8時15分から25分までの10分間行っています。

#### 【ねらい】

- ・「本とのふれあい」を通して、読書本来の楽しみや喜びを味わう。
- ・自己を見つめ、考える力を養うとともに、生きる力・豊かな心を育む。
- ・「読む」ことを継続する中で、読む力・聞く力・話す力・書く力といった総合的な国語力を養う。
- ・本を介して、友人や他の人を理解し、尊重する態度を養うとともに、より良い人間関係を築き、人間的な交流を深める。
- ・様々な学習活動のベースとなる「学ぶ力」を養う。

#### 【約束】

- ・みんなで読む・・・全学級で行う。先生も一緒に行く。
- ・毎日読む・・・習慣づける。
- ・好きな本を読む・・・教科書、参考書、雑誌、マンガ、絵本は不可。
- ・自分のレベル・ペースで読む。
- ・しゃべらない、他の作業をしない。



### (4) 学習コンクールを活用する

1年を通じて5教科で実施しています。

#### 【ねらい】

- ・毎日コツコツ行う学習の大切さを知り、自ら学習しようとする意欲を高める。
- ・「できる喜びや」や「達成感」を持つ。

#### 【計画】

教科	実施期間	
国語	6月	各教科、月に1週間（5日間）の学習期間をつくり、1日10問ずつの問題を勉強します。 学習期間の次の週に学習コンクールを実施します。
数学	9月	
社会	10月	
理科	11月	
英語	12月	

5教科の成績優秀者は、2学期の終業式に表彰されます。



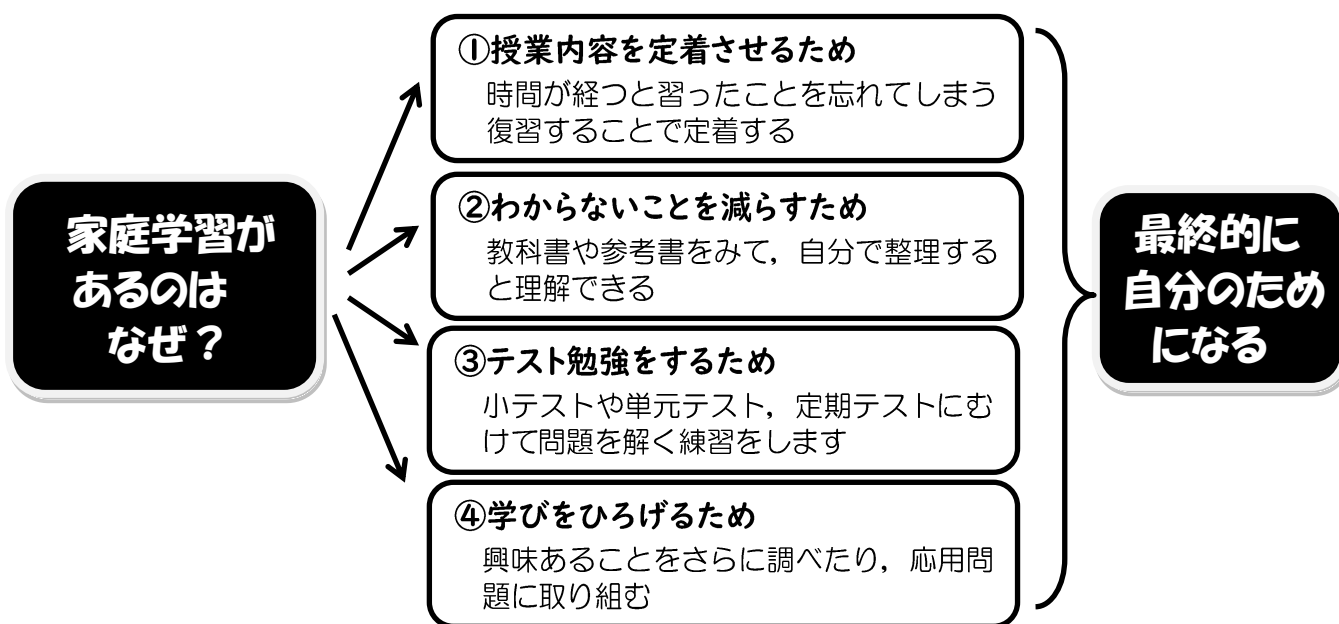
## (5) 習ったことを復習する



今日から自学ノートによる家庭学習が始まります。

中学校では学習内容が多く、生徒会活動や部活動をやっている人はとても忙しい毎日を送っています。テストや提出課題も増え、自分のためになる学習を効率よく進めていかなければなりません。

初めての1年生も、昨年度から取り組んでいる2・3年生も「なぜ家庭学習をするのか」をきちんと理解してから、スタートしましょう。



### 【方法】

#### ① 自学ノートを用意する

- 各自でノートを準備する
- 表紙に学年、氏名、教科名を記入する
- 1年生の最初のノートは学校で準備します

#### ② 家庭学習をする

#### ③ 自学ノートを提出する

- 系の生徒が回収し、朝の会の後、職員室へ届ける

#### ④ 自学ノートが返却される

- 係生徒が、帰りの会の前に職員室前に取りに来て各生徒へ返却する

# Ⅲ. 5 教科の基本学習法



## 1 国語

### 1) 具体的な学習方法

#### 【授業】

- ① 国語は言葉の学習。間違いを恐れず、自分の考えをもって発表することが大切。
- ② 授業内に学習したことは、必ず自分の言葉を使ってまとめること。
- ③ グループ活動では、誰と一緒にいても協力して取り組むこと。
- ④ 黒板に書いたこと以外でも、大切だと思ったことはどんどんノートにメモして書き入れる。

#### 【家庭学習】 ※国語が苦手な人は特に「復習」に取り組んでみましょう。

- ① 漢字～新出漢字や、前に習った漢字を練習しよう。
- ② 意味調べ～わからない言葉など、自主的に辞書で調べて書いてみよう。
- ③ 「読める」「書ける」言葉や漢字を増やす～読めることが第一歩です。
  - ・小学生の漢字を復習し直したいという人は教科担当まで申し出てください。

### 2) 定期テスト(中間, 期末, 学年末)に向けてのワンポイントアドバイス

- ① 上の【家庭学習】の内容を継続してやってみましょう。
- ② ワークはこまめに取り組みましょう。
- ③ 単元テストで間違えた問題を理解できるまで解説を読みましょう。

### 3) 国語が苦手になってきた人は・・・

- ① 漢字や文法事項のような、知識に関する内容は悩むよりも教科担当に質問するといいと思います。そのうえで、自学ノートを活用して繰り返し覚えるまで努力しましょう。
- ② 条件作文や、字数指定作文のような記述問題では、
  - ・「主語」と「述語」がはっきり伝わるかどうか
  - ・「いつ」「どこで」「誰が」「なぜ」「何を」「どのように」といった、5W1Hと言われるポイントをふまえた文章作りを意識しましょう。何度もくじけずに取り組むことが大切です。
- ③ 小説だけでなく、有名人が書いた本や、直木賞や芥川賞などで話題になっている本に興味をもって、幅広いジャンルの本を読んでみましょう。

**どんなことでも、基礎・基本となる物事に繰り返し取り組むことが、上達の近道だと思います。面倒がらずに、コツコツ取り組むことが、中学生の時期の学習においては重要です。頑張りましょう。**

## 2 社会



### 1) 具体的な学習方法

#### 地理的分野 → 地理はイメージ

- ①頭の中に地図がイメージできることが重要です。そのためには頭の中だけで考えることなく、目と手をつかって学習しましょう。
- ②地図帳を開きながら、問題（学習）に取り組みましょう。調べた地名（場所）は、地図帳にペンなどでチェックしましょう。
- ③ポイントを押さえた略地図を描く習慣をつけましょう。
- ④重要語句の意味を短く簡単に、文章でまとめることを心がけましょう。

#### 歴史的分野 → 歴史は流れ

- ①歴史は人の営みによってこれまでの時間の中でつくられてきたものです。この流れをつかむことです。

**ステップ1** → 教科書に書かれている歴史的な出来事は星の数ほどある中から選ばれたものです。そこには選ばれただけの意味と理由があります。歴史的出来事の内容を理解すると同時に、その意味と理由をしっかりと理解します。

**ステップ2** → 単元の区切りのいいところで、ステップ1で学習した歴史的な出来事を年表にまとめてみましょう。

この繰り返し（積み重ね）で歴史の流れをつかむことができます。細かい年号を覚えることは、この後の作業です。

- ②重要語句の意味を短く簡単に、文章でまとめることを心がけましょう。
- ③歴史的な出来事が起きた場所を地図帳で確認する習慣をつけましょう。

#### 公民的分野 → 公民は整理整頓

- ①公民の学習のコツは知識を整理することです。多くの知識を頭の引き出しにきちんと整理整頓することを心がけてください。そのために、4時間分の授業（1週間分）のノートをもう一度まとめて作ってみてください。まったく同じ内容でかまいませんが、慣れてきたら自分なりに工夫（色分けや見出し、語句の整理など）してみましょう。
- ②日常の出来事や事件に関心を持ちましょう。新聞やテレビのニュースなどに目を向け、事件などが起きた場所等を地図帳で確認する習慣をつけましょう。
- ③重要語句の意味を短く簡単に、文章でまとめることを心がけましょう。

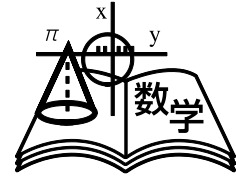
### 2) 定期テスト(中間, 期末, 学年末)に向けてのワンポイントアドバイス

- ①ノートを見直し、整理しながら作り直しましょう。ノートは自分にとって、最高の参考書です。
- ②ワークやプリントは繰り返し取り組みましょう。何度も繰り返すこと。

### 3) 社会が苦手になってきた人は・・・

まずは、新聞やニュースからの色々な情報に、興味を持ってみましょう。そうすることで、社会という教科への興味や関心につながったりします。

### 3 数学



#### 1) 具体的な学習方法

【予習】 教科書の次にやる例題を読んでおく程度でよい。

【授業】 ①例題の解き方についての説明，解説を聞く。  
②練習問題を，教科書の例題を参考にしながら解いてみる。  
③途中計算を省略しない。←どのような道筋をたどったのかがわかるように!

【復習】 ①授業のノートや授業で取り組んだワークに目を通す。  
②時間に余裕があるときは，同じ問題をもう一度解いてみる。  
③間違えた問題は間違わないようになるまで，何度も取り組む。  
④小テスト，単元テスト，定期テストに向けて，これを何度も繰り返し，教科書，プリント，ワークの問題は全て解けるようにする。  
⑤テスト前日には，間違えた回数が多い問題を中心に見直す。

#### 2) 定期テスト(中間,期末,学年末)に向けてのワンポイントアドバイス

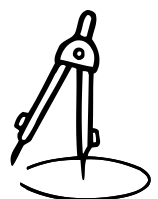
- ①テストまでに教科書，プリント，ワークは間違えた問題を中心に何度も解き，全ての問題を解けるようにしておく。単元テストも見直そう。  
例) 間違えた計算の式だけを自学ノートに写し，自分の「不安な問題ページ」を作っておくのも良いでしょう。
- ②テスト前にあわてることが無いように，毎日，数学の家庭学習(復習中心に)を行う習慣をつける。

#### 3) 数学が苦手になってきた人は…スキルアップはこれで!

- ①基本の問題にもどるのが一番の近道!  
前の学年の教科書の巻末にまとめ問題があります。自分で苦手な分野を選んで解いてみよう。何から始めてよいか分からない場合は，それぞれの学年の前半で行っている計算を中心に取り組み始めるとよいです。
- ②毎日5題ずつでも，ノートに問題を丁寧に解いてみる! チリも積もれば山となる! これを100日は続ける。(すると500題になる) →必ず成果あり!
- ③まずは基本問題(教科書だと例題，ワークだとA問題)がしっかりと解けるようにしよう。発展問題は基本があってこそそのものです。
- ④途中でやめることなく，最後まで解き終えること。つまりいてしまったら，早めに教科担任に相談しましょう。(そのままにしない。)
- ⑤ワークの問題を何度もやろう。2回目は1回目の間違えたところだけを解き，3回目は2回でもできなかったところを解く。繰り返しが大事!

#### 得意になってきたら…

- ①発展問題(ワークのB・C問題)にもチャレンジ。
- ②難しい問題を解けたときの喜びを味わおう!



## 4 理科

### 1) 具体的な学習方法

【予習】①観察や実験を行う場合にどんな器具でどんな実験をするのかを教科書を見ておくと良いです。

②自分で興味をもったものを積極的に調べていくことも大切です。

【授業】①実験や観察では目的(課題)が何か?きちんととらえて授業に参加しましょう。

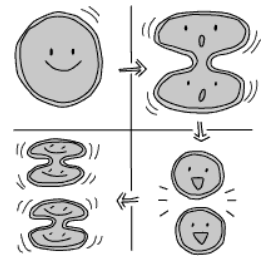
②目的を達成するために観察や実験の方法を正確に理解することが大切です。

③観察・実験では、直接見て・触れて・やってみるということがとても大切です。(頭で覚えるだけではなく、体で感じる)作業を人まかせにしない。

④実験や観察でつくるレポートを大切にしましょう。理科では実験の結果をもとに法則を見つけ出す能力が問われます。自分なりの考えをしっかりと表現できる力を身につけましょう。

⑤ノートやワークシートをきちんと書こう。

大切なところは色をつけるなど、目立つ工夫をすることが大切です。図やイラストなどを使って、視覚的に覚えることも効果があります。



【復習】①授業が終わったあと、ノートなどをまとめ直して、大事な語句や内容を再確認しよう。その後はワークなどを利用すると効果的です。

②理科で学習したことが、日常生活の中で利用できるかを考えてみましょう。

### 2) 定期テスト(中間, 期末, 学年末)に向けてのワンポイントアドバイス

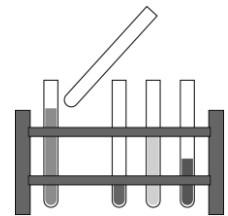
①理科で使う重要な用語とその意味、また法則や規則性は暗記しておくことが大切です。

正確に覚えるために家庭学習ノートに要点を整理しましょう。

②ワークやプリントで問題練習を繰り返してやり、出題されるパターンをつかみましょう。

③家庭学習のためのノートをつくり、教科書等を参考にしたり先生に質問したりしながら、確実にできるまで徹底的に学習することに心がけましょう。

④「間違った」または「分からなかった」理由を考えながら勉強することが大切です。



### 3) 理科が苦手になってきた人は・・・

理科は好きになることが一番です。分野ごとに分かれている教科なので、得意分野や不得意分野があります。

得意な分野は力を伸ばして、不得意分野は先生に相談して下さい。そこで、個々に合った学習の仕方をアドバイスします。



## 5 英語



### 1) 具体的な学習方法

【予習】新しいセクションに入るまでに、本文写しと単語の意味調べをしましょう。

(宿題にします)

【授業】集中して取り組みましょう!!積極的に発表しましょう~!!

- ①英語は言葉の学習。間違いを恐れず、はっきりとした大きな声で話すことが上手くなる近道。
- ②授業内に学習したことは、授業の中で自分のものにするというくらいの気持ちで臨むこと。
- ③ペアやグループ活動では、誰と一緒にいても協力して取り組む。
- ④黒板に書いたこと以外でも、大切だと思ったことはどんどんノートにメモして書き入れる。付箋に書いて貼ってもいいですね。

【復習】一番大切といわれている「復習」に取り組んでみましょう。

- ①単語~太字は英単語が書けるように、細字は意味を覚える。  
(単語テストがほぼ毎日あります)
- ②熟語~ノートや自学ノートにまとめたり、ワークで確認したりする。
- ③本文~スラスラ読めるようになるまで読む練習をする。
- ④文法~ノートに書いたことをもう一度見返し、ワークの問題等で確認する。

### 2) 定期テスト(中間, 期末, 学年末)に向けてのワンポイントアドバイス

- ①上の【復習】の内容を継続してやってみましょう。
- ②ワークは徹底的にやること。⇒ためずにコツコツやるのがポイント
  - ・1回目は自分のノートに、2回目はテスト前に直接書き込む。
  - ・1回目は赤で丸付け、2回目は青で丸付け(後で見返したときにできなかった問題がわかりやすいです)というような方法もあります。

### 3) 英語が苦手になってきた人は・・・

- ①まずは単語に戻ること。1年生の教科書の単語を確実に覚えましょう。
- ②1年生の授業ノートを見返して、be動詞の文・一般動詞の文の作り方を復習する。  
1年生のときに勉強した内容が、基礎の大切なところになります。
- ③問題を多く解く。ワークは別冊の解答で、解説を見ながらやってみましょう。

### 得意になってきたら・・・

- ①学習した内容を使い英作文にチャレンジしましょう。日記を書くことも力になります。
- ②本文を英語から日本語に、日本語から英語にできるように暗記してみましょう。
- ③発展問題のある問題集に取り組んでみましょう。



# 自学ノートのススメ

自学ノートをより充実させて、自分にとってプラスのものとなるよう、頑張ろう。

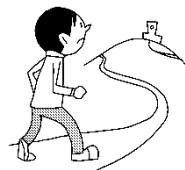


## 【全教科で取り組める内容例】

- ① その日の授業で理解が不十分だったところ  
(練習問題を解き直す, 授業ノートをまとめなおす, 教科書を読みなおす)
- わからなかったところを, 自分なりに整理して考える!  
“その日のうち”が大切
- ② テストの解き直し
- テストで間違えた所⇒理解していない内容  
○テストで出た問題⇒大切なところ  
すなわち, 重要なポイントを押さえて効率的に自分の弱点を克服できる!
- ③ 授業で学んだことを生かして
- 「さらに深く知りたいな」  
⇒資料集等を用いて, 発展的内容について調べてみる  
○「勉強したことを使って, 新たな問題にチャレンジしたいな」  
⇒学習した内容を応用して, 別の課題に取り組んでみる

ステップアップ!

漢字や英単語などを何度も繰り返し書く学習は, 部活動に例えると, 試合もせずに基礎練習ばかり繰り返しているようなもの……。1 ページを半分に折って, 左に問題, 右に答えを書いたり, 答えを赤ペンで書いて赤い下敷きで隠すようにするなど, 問題形式(試合)で取り組んでみましょう。



ノートを文字で埋めるのではなく, 学習内容を身につけること, ノートではなく頭を書くことが大切!

## 【教科ごとの取り組み内容】

国 語	<p>【STEP1】漢字練習（必ず熟語で練習を！）、語句の意味調べ（予習） →国語の基礎基本です 今習っているところの漢字・小学校の漢字</p> <p>【STEP2】・授業ノートをまとめ直す（授業ノートより詳しく書こう！大事なところは色ペンを使おう） ・ワークに取り組む →自分で授業内容を振り返ることで力がつきます</p> <p>【STEP3】・新聞のコラムの書き写し、感想、要約（段階にあわせて） →論説文の読み取りや作文を書く力の向上につながります！ ※コラムはノートに貼りましょう</p>
数 学	<p>【STEP1】授業ノートの内容や、同じ問題を自学ノートに書いて取り組む。 ⇒復習ノートができる！もう一度授業の振り返りができる！</p> <p>【STEP2】ワークやテストで間違えた問題を自学ノートにまとめて、取り組む。 ⇒自分の苦手問題を集めたノートが完成！ わかるまで何度も取り組むことで自信につながる！</p> <p>【STEP3】教科書巻末の「まとめ問題」を自学ノートに書いて取り組む。 単元（小単元）の終わりに、まとめレポートを作ってみる。 ⇒数学の用語も含めて、自分なりのまとめノートが完成！</p>
社 会	<p>【STEP1】重要語句（太字）とその語句の内容を自学ノートに書く。 ⇒社会科の基本！これが押さえられていないと点数が伸びないぞ！</p> <p>【STEP2】授業のノートを自学ノートにまとめ直す。 （授業のノートより詳しく、図や表なども入れよう！） ⇒自分で自分のノートをつくることで、より理解が深まります！</p> <p>【STEP3】ワークなどいろいろな問題にチャレンジしよう！ ⇒同じことを聞くにもいろいろなパターンがあります。特に資料問題になれよう！</p>
理 科	<p>【STEP1】授業・実験ごとにノートにまとめる。 ⇒週に1回以上は取り組む。</p> <p>【STEP2】単元が終わったら、章ごとにコンパクトに自学ノートにまとめる。 ⇒自分でまとめることで、本当に理解しているかがわかる。</p> <p>【STEP3】ワークと市販の問題集（塾はテキスト）を解いて問題に慣れる。 ⇒同じ問題でも、問題文や図が違うだけでわからなくなることがあるので、テスト前はひたすら解くことが最良。</p>
英 語	<p>【STEP1】英単語、連語を問題形式で練習する。 ⇒単語・連語は英語の基本です！特に1年生で勉強したものが重要！ 教科書の本文を音読しながら書く。 ⇒早く丁寧に書けるようにしよう。 授業ノートを整理して、まとめなおす。 ⇒ただ書き写すのは×考えながら書こう。文法内容の整理ができる！</p> <p>【STEP2】基本文の意味を書いて、それを英語にする。 ⇒重要構文の復習ができます！必ず自分で答え合わせをしよう。</p> <p>【STEP3】新しく勉強した構文を使って、自分の立場で英文を書いてみる。 ⇒英作文の力がつきます！ ※全て声に出しながらやると効果がUPしますよ！</p>



## IV. タブレットの使用

昨年度、授業で先生が実物投影機やノートパソコン、タブレットを使用したり、みなさんも教科や総合学習等で、タブレットを使ったり、自宅に持ち帰ってオンライン授業に参加したりするなど、ICT機器を使用する場面がありました。改めて、どのような目的でみなさんにタブレットを使ってもらうのか触れておきたいと思います。



### I 情報社会で生きる

みなさんが生まれたときには、すでにインターネットやスマホがあり、簡単に情報を収集したり、逆に発信したりするなどとても便利な世の中になりました。会社・職場ではあたり前のようにパソコンで仕事をし、さらには、パソコンを使ってソフト開発など新たなものを創りだしています。また、高校でもパソコンを使う授業が行われています。そのために、インターネットやパソコン・スマホの仕組みや使いこなし方についての知識を深める必要があるのです。

### II 学びの質を高める

例えば、eライブラリやL-gateには、様々な問題があります。だから、自分の進度に合った問題に取り組む事ができます。また、理解できるまで繰り返し学習することができます。繰り返すことができるので、さらに良い結果に繋がり、意欲の向上、そして分かることで学習が楽しいものになります。

### III 学校での使い方

- ① 朝、登校後、タブレット庫から自分の端末を出し、ログインして、健康観察を行う。
- ② 日中は、机の中に保管し、必要に応じて、授業等で活用する。
- ③ 清掃・帰りの会の前に端末をタブレット庫へ戻し、電源アダプターをさしておく。  
\*必要に応じ、持ち帰って使用することもあります。

ただ何となくICT機器を使用していたのではなく、上記の目的があります。だから、みなさんも意識して使用してみてください。